

サスペンショントラウマを予防するための救助計画を立てましょう

ハーネスが墜落・転落を防止しても、長時間ぶら下がったまましていると命にかかわります。



作業を始める前に...

- ✓ セルフレスキューとアシストレスキューについて作業員を訓練し、救助用具を支給します。

墜落・転落後は、救助計画を開始してください...

- ✓ 直ちに救助が行えない場合は、以下の方法で、ぶら下がっている作業員の血液の循環を保ちます。
 - トラウマ対策ストラップやループ、個人用の縄はしごを使用したり、命綱でフットループを作って、直立した姿勢にする。
 - 脚をこまめに上下に動かす。
- ✓ 911に電話する。

時間を確認してください... 血液が循環していない場合、作業員はわずかな時間で次の状態に陥ります。



目まいや吐き気を感じたり、意識不明になる



サスペンショントラウマを経験し、死亡する

計画する。支給する。訓練する。

墜落・転落を防止するための3つの簡単なステップ。

建設現場での墜落・転落事故防止に向けたキャンペーンにご参加ください!

www.stopconstructionfalls.com



計画する。支給する。訓練する。



NIOSH



CPWR
THE CENTER FOR CONSTRUCTION
RESEARCH AND TRAINING